

# 2023年度（令和5年度）日野市予算要望項目

日野・生活者ネットワーク

## 1. ケアする人もされる人も、誰もが安心して暮らせるように

- 1) ケアラー支援条例の制定に向けてのロードマップを示してください。【新規】
- 2) ケアラー支援条例制定の検討委員会設置に向けて、ケアラー（ヤングケアラー含む）、元ケアラーへの聞き取り調査の実施を求めます。【継続】
- 3) ケアラーの「困った」に対応できるようなマニュアルを作成し、どの地域包括支援センターでも同じ支援が受けられるよう取り組んでください。【新規】

## 2. 子どもの権利が守られ、いきいき育つ環境をととのえる

- 1) 2023年度中に「子どもオンブズパーソン制度」を設置できるよう、外部識者のみならず「日野市子ども条例」策定に関わった市民委員も加え、検討委員会を立ち上げてください。【拡充継続】
- 2) 「日野市子ども条例」15年目の記念行事として、「子どもオンブズパーソン制度」検討状況の中間報告を通し、その必要性を知るシンポジウムの開催を求めます。【新規】
- 3) 「知っ得ハンドブック」などの子育てに関する情報提供冊子に「日野市子ども条例」の内容がわかる情報を掲載する、あるいは母子保健事業の際にポケット版を配布するなど、子どもの権利に関する啓発の取組みを求めます。【新規】
- 4) いわゆる取り出しではなく、全体の中で子ども達の個を伸ばしながら、多様性や合理的配慮への理解を深めることを支援する作業療法士（OT）の学校配置を、まずはモデル校より実施してください。【継続】
- 5) 高幡の子ども家庭支援センターは、子育て広場としての活用を求めます。【継続】
- 6) 日野市のHPは、子どもの意見をきき、子ども用のコンテンツをつくってください。【新規】

## 3. すべての人が自分らしく「共に」生きる社会を実現する

- 1) パートナーシップ制度制定を活かし、誰もが多様なジェンダーの当事者であることを理解し、互いを認めあえるような機会や場、LGBTQ当事者による教員への研修など、計画的に継続することを求めます。【新規】
- 2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム推進協議会が立ち上がったことは前進ですが、年2回の開催では、具体的な検討にはなかなか進まないと感じます。ピアサポート体制の構築など、具体策の検討に着手できるよう、開催頻度の見直しと、推進できる人員体制の強化を求めます。【新規】
- 3) デフリンピック2025東京開催に向け、言語としての手話への理解が広まるよう、手話講座のオンライン配信及びHPへのアーカイブを求めます。【新規】
- 4) 計画や制度の策定時の検討会の市民委員には、障がいのある方や在住外国人の意見も反映できるよう、積極的に参加を呼びかけてください。【新規】

## 4. ストップ地球温暖化!自分から地域からはじめよう

- 1) 気候市民会議で話された内容が広く市民に伝わるよう、工夫を求めます。【新規】
- 2) 環境政策課の設置など、施策推進強化のための環境部署の組織体制の見直しを求めます。【拡充継続】
- 3) 区画整理地内の公園用地を活用し、地域住民と共にコミュニティーガーデンを増やす取り組みを進めてください。【新規】

## 5. 感染症や災害への対策は日常から

- 1) 雨水タンク設置補助制度を令和5年度より実施できるよう、制度設計を進めてください。【再提案】
- 2) 自治会や自主防災会等の単位で、ご当地ハザードマップを作成するワークショップを開催できるような後方支援(説明、マニュアル、白地図などの提供)をしてください。【拡充継続】
- 3) 庁用EV車の充電は、1台はソーラー式のものを設置してください。【新規】

## 6. 市民が主役!市政をもっと身近に

- 1) 郵便等投票対象者への制度説明を徹底し、十分にサポートしてください。【新規】
- 2) 現在開催されている総合教育会議を、例えば週末開催でオンラインでも参加できる仕組みなど、市民に関わった教育会議にしてください。【新規】
- 3) 情報公開の観点から、各議事録の公開の確認、ホームページ掲載時期などの規程を定め、AIを活用するなど迅速な掲載と見つけやすい工夫を求めます。【拡充継続】

## 7. 日野市の魅力、再発見!

- 1) 郷土資料館のHPは日野市の歴史を知りたいという子どもから、専門的な知識を求める人までも対応するよう、郷土史に詳しい市民と共に、デジタルアーカイブの充実など改善をはかってください。【新規】
- 2) まちの記憶や市民の生活の記録を未来に向けて残していく取り組みを、継続的な事業としてご検討ください。【新規】